



# ふくしだより



**住田町社会福祉大会 福祉写真コンクール  
最優秀賞 菅野 英子様 「安否確認」**

2人の日課は、毎日行ったり来たりして、お互いの無事を確認すること。  
今日も2人共元気で良かったと笑顔です。

社会福祉法人 **住田町社会福祉協議会**

岩手県気仙郡住田町世田米字川向96-5  
TEL 0192-46-2300 FAX 0192-46-2321

おらほの事業所

- ◆ 居宅介護支援事業所
- ◆ 訪問介護事業所
- ◆ 訪問入浴介護事業所
- ◆ アンルス通所介護事業所
- ◆ とだてりハ
- ◆ グループホームかっこう

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 世田米字川向 96-5  | TEL 0192-46-2300 |
| 世田米字川向 96-5  | TEL 0192-47-3357 |
| 上有住字和田野 12-5 | TEL 0192-48-3300 |
| 上有住字和田野 12-5 | TEL 0192-48-3300 |
| 下有住字十文字 89-2 | TEL 0192-47-3104 |
| 下有住字十文字 89-2 | TEL 0192-47-3103 |

QRコードからホームページとFacebookにアクセスできます！



ホームページ



Facebook

# 令和6年度 住田町社会福祉大会 住田町老人クラブ大会

# 大樹祭

11月3日(日)、令和6年度住田町社会福祉大会・住田町老人クラブ大会『大樹祭』を住田町農林会館において開催しました。「ありがとう おたがいさまが合言葉 福祉のまち すみた」をテーマに、約280名にご参加いただきました。また、今年度は久しぶりに老人クラブ芸能大会も実施し、盛況に終えることができました。

本大会は、町民総参加による地域づくりを推進することを目的として、社協と老人クラブ連合会が主催し3年ごとに開催されているものです。

各種表彰、福祉作文コンクール入賞作品の発表、福祉写真コンクール入賞作品の展示、福祉活動支援金の贈呈

が行われたほか、記念講演では「不登校ひきこもりの親が幸せな理由～地域とともに」と題して、笑いのたねプロジェクト代表の後藤誠子さん（北上市）にご講演いただきました。

講演の中では、次男の不登校とひきこもりを経験したことでの気づき、当事者や家族をサポートする同プロジェクトを立ち上げたことや活動への思いを語っていただきました。「当事者の親としては『学校に行ってほしい』と強く願うかもしれないが、どんな状態であっても当事者にとっては必要な時間かもしれない。また、子どもだけではなく親への精神的サポートもとても重要で、不登校は子どもの能力や育児の失敗を意味するわけではない。当事者や自分の『ありのまま』を肯定しつつ、楽しみを見つけていくことが大切。親の笑顔が子どもへの『大丈夫』のメッセージになる」とお話ししていただきました。



記念講演：笑いのたねプロジェクト  
代表 後藤誠子さん

## 住田町社会福祉協議会 会長表彰

社会福祉事業功労 泉田健一様

褒賞 遠藤義明様 高木末子様 藤川保子様

ボランティア  
活動功労

住田町食生活改善推進協議会「きさらぎ会」様 KIT工房様  
ヘルスサポートの会様 図書環境コーディネーター「ま～ぶる」様  
中心型カフェボランティアチーム様 菜の花カフェ様  
ひまわりカフェ様 どんぐりカフェ様 みねちゃんカフェ様  
ねむの木カフェ様 あけぼのカフェ様 カフェしゃくやく様

## 住田町老人クラブ連合会 会長表彰

老人福祉功労

〈曙〉 小野田 アサ子様  
横澤 タミ様  
菊池 紀佐子様  
泉田 卓蔵様  
大山 智美様  
〈中沢上〉 菅野 一也様  
〈悠悠〉 千葉 滋夫様  
松田 悦子様

〈東峰〉 菊池 賢治様  
〈中井〉 遠藤 勇一様  
〈両向〉 佐藤 照夫様  
〈外館〉 柏崎 一男様  
水野 勝弘様  
高橋 優様  
水野 トシ子様  
〈天嶽〉 故紺 野勝 彌様

感謝

〈曙〉  
菅野 春哉様  
〈山和寿〉  
菅崎 ルミ子様  
泉 マサ子様  
〈川口〉  
佐藤 昭夫様

## 福祉作文コンクール

### 小学校低学年の部

- 最優秀賞** 吉田 莉心様 (有住小学校1年) 「ひいおばあちゃんとのあいさつ」  
**優秀賞** 熊谷 紗那様 (世田米小学校2年) 「おばあちゃんちに行ったこと」

### 小学校中学年の部

- 最優秀賞** 高萩 実雨様 (有住小学校4年) 「自分とちがっていても」  
**優秀賞** 菅崎 美花様 (世田米小学校4年) 「人に思いやりのある心のある町、住田町」

### 小学校高学年の部

- 最優秀賞** 水野 耀太様 (有住小学校5年) 「ぼくができること」  
**優秀賞** 里見 明様 (有住小学校6年) 「能登へ届ける岩手の応援」



福祉作文コンクールで入賞された皆さまに、  
作文の読み上げをしていただきました！

学校での学びや家族への思い、キャップハン  
ディ体験、災害についてなど、素直な言葉で語  
る様子に聞き入りました。

## 福祉写真コンクール

**最優秀賞** 菅野 英子様 『安否確認』 ※本号表紙掲載

**優秀賞** 遠藤 千草様  
『元気の元が来た!!』

**優秀賞** 泉田 幸子様  
『まだ百歳 元気でいてよ』



## 福祉活動支援金の贈呈

住田ライオンズクラブ様より町内の福祉活動  
団体に活動支援金を贈呈していただきました。

# 福祉作文コンクール 受賞作品紹介

## 小学校低学年の部

### 『ひいおばあちゃんとのあいさつ』

有住小学校 1年 吉<sup>よし</sup>田<sup>だ</sup>莉<sup>り</sup>心<sup>こ</sup>さん



わたしのひいおばあちゃんは、ことしの7がつに101さいでてんごくにいきました。ひいばあちゃんのおせわは、おもにおじいちゃんがしました。ひいおばあちゃんにごはんをたべさせたり、のみものをのませたりしました。わたしは、たべさせるのはむずかしいのであいさつをがんばろうとおもいました。

あさ、ひいばあちゃんのそばへ行って「ばあちゃん、おはよう。」と、こえをかけると、にこっとわらって「りこちゃん、おはよう。」と、いってくれました。わたしは、ひいばあちゃんのえがおが、だいすきでした。



ひいばあちゃんとあいさつをすると、げんきパワーをもらいました。

ひいばあちゃんは、ベッドでよこになっていてもニュースをみることができました。ニュースをみてどんなことがおきているのかをしろとうとしてすごいなあとおもいました。

ひいばあちゃんのおわかれは、とつぜんきました。わたしが、ピアノからかえってくると、てんごくにいつてしまいました。ひいばあちゃんとあえないのでとってもさびしいです。おじいちゃんとおばあちゃんには、101さいよりもながいきしてほしいです。

おじいちゃんは、はたけでいろいろなやさいをそだてています。こんどおじいちゃんといっしょにくさとりにしてみたいです。

おばあちゃんのつくったりようりは、とてもおいしいです。こんどみんながたべあわったしょっきをあらうのにちょうせんしたいです。

ひいばあちゃんからあいさつは、ひとにげんきをあたえるんだとおしえてもらいました。これからは、もっとたくさんひとにすすんであいさつをしたいです。

ひいばあちゃん、てんごくでわたしたちをみていてね。

### 『おばあちゃんちに行ったこと』

世田米小学校 2年 熊<sup>くま</sup>谷<sup>がい</sup>紗<sup>さ</sup>那<sup>な</sup>さん



夏休みに高田のおばあちゃんの家にあそびに行きました。おばあちゃんちには、はたけがあります。トマトやアスパラガスをそだてています。

ちょうどトマトのみが赤くなったので、とるためにはたけの草とりをおばあちゃんといっしょにしました。草とりをしながら、

「草がすぐに大きくなって、毎日草をとるのがたいへん。」

と言っていたのではりきりました。たくさんとったので、こしがいたくなりました。おばあちゃんに、

「スツクリしたよ。とてもたすかったよ。」

と言われ、おばあちゃんのやくに立ってうれしかったです。

おばあちゃんのつくるトマトは、あまくてせかいーおいしいです。毎朝、お水やりやかんさつをしているからだと思います。

お昼ごはんは、おばあちゃんといっしょにカレーライスをつくりました。わたしは、じゃがいもを切るかかりをしました。

「左手をグーにして切るんだよ。」とおしえてくれました。かたくておずかしかったです。かんせいしたカレーライスは、いつもよりおいしかったです。

わたしは、1年生からバレーボールをならい、休みの日もれんしゅうやしいに出るので、あまりおばあちゃんの家に行かなくなりました。おばあちゃんはずっと、「バレー、がんばってね。」

とおうえんしてくれますが、わたしは、すこしさびしいです。だから、ひさしぶりにゆっくり会えてよかったです。これからも元気で長生きしてほしいし、これからも、せかいーおいしいやさいづくりのお手つだいがしたいと思います。



## 小学校中学年の部

### 『自分とちがっていても』

有住小学校 4年 <sup>たか</sup>高 <sup>はぎ</sup>萩 <sup>み</sup>実 <sup>う</sup>雨さん



わたしは、4年生の地域創造学の「人にやさしい町・住田」の学習で、キャップハンディ体験をしました。その中で、ハンディのある人は毎日こわくて不安な生活をしていると感じました。

車いすになってみたら、坂のところやだんさはこわかったけど、廊下などは安心して乗れました。それに、人におしてもらおうと安心できました。それでも、急にガタンとなるとこわかったです。本当に乗っている人は、それ以外にもこわいところがあるかもしれないと思いました。おすのもやってみたけれど、どう支えればいいのかわからずに困りました。

お年よりの体験もしてみました。首と腰が曲がってたいへんで、顔を上げられませんでした。かいだんでもたいへんで、だれかがいないと心配になりました。お年よりの大変さがよくわかりました。

体験する前は、ハンディのある人はこんなにも生活でたいへんなことがあるなんて知りませんでした。でも、自分が体験してみると、だれかがいてくれたり、ささえてくれたりすると安心でした。

こうして考えてみると、わたしが生活の中で感じる幸せは、家族といつでも会えるし話せることです。いっしょにいてくれる家族がいるということは、とても安心します。だから、障がいがあるだけでなく、不安そうにしている人がいたら、「いっしょにやろう」と声をかけてあげられたいと思います。

わたしは今まで、ハンディのある人はかわいそうだと思っていました。でも、実際体験したり、学習してみると、目の見えない人は一人だとこわいけれど、だれかが支えたり、信号きの音を工夫したりしてくれたらうれしいと思いました。あしが不自由な人でも、障がいをカバーできるように工夫することで、パラリンピックにちょうせんしています。自分のコンプレックスなところを、自分の得意なことにかえることができるとうれしいと思います。

わたしが読んだ本の中にも障がいがある子どものことが書いてありました。目が見えなかったり、耳が聞こえなかったり、体が動かなかったりするけれども、ハンディがあることでのよさを見つけていて前向きですごいなと思いました。



わたしの、障がいにたいする前までの考え方は、「かわいそう」でした。でも、創造の学習で学んだことや、本を読んで知ったことで、たとえばあしが悪くても、手に障がいがあっても、自分とちがっていても、わけへだてなくなかよくしていきたいです。そして、近くに障がいをもった子がいたら「いっしょに遊ぼうよ」と声をかけてあげたいです。

## 『人に思いやりのある心のある町、住田町』

世田米小学校 4年 菅 崎 美 花 さん



5月16日に、社会ふくしきょうぎ会の松本さんと菊池さんが、学校へ来てくださいました。わたしは、どういうことが、お年寄りの方たちが不自由でおずかしいのか、わたしたちがどういふことを手伝えれば良いのかを知りたいと思っていました。

まず、クイズとプリントが出されました。クイズは、テーブルにぶつかって転びそうな物や、カーテンにぶつかりそうなところ、危なくてお年寄りのみなさんを手伝った方がいいところばかりで、ふだんの生活で気をつけるところがたくさんありました。おばあちゃんの家や自分の家でも、気をつけようと思わせるクイズでした。

次に、お年寄りのみなさんは、どこが不便であるか4年生全員で考えました。足が不自由、腰や肩がいたい、白内障など、たくさんの不自由なところを見つけて、私はおばあちゃんのことだけではなく、ほかの人たちにも「大丈夫ですか。」「荷物を持ちましょうか。」と思いやりの心をもち、行動することが大切なんだと思いました。

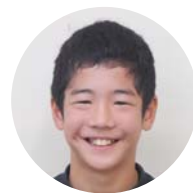
最後に、住田町にあるふくし施設の名前や場所を教えてくださいました。すみだ荘やデイサービスのことなど、お年寄りのふくしのかかわり方を松本さんに教えてくださいました。「ふだんの、くらしを、しあわせに。」この言葉の頭文字をとり、「ふくし」という名前になったそうです。この話を聞いて、ときどき家のあぶない場所をノートにメモし、お年寄りの人に教えてあげたり、こまっている人に勇気をふりしほり声をかけたいです。これからは、あたたかいメッセージをかけて、こまっていればめいわくにならない程度に手伝おうと、地域創造学の学習で思いました。



## 小学校高学年の部

## 『ぼくができること』

有住小学校 5年 水 野 耀 太 さん



ぼくの母は、両耳難聴者です。右耳は、生まれた時から全く聞こえず、子どもの頃は、左耳だけで音を聞き取っていたそうです。その左耳も大人になるにつれて聞こえにくくなり、今では、両耳難聴者として生活しています。

ぼくの母は、いつも聞き間違いをしたり、何回も聞き直しをしたりして、時には、話しかけても気づいてもらえない事もあります。そのたびに母は「ごめん聞こえなかった。」と謝ります。

母は、子どもの頃から聞こえにくいことで色々と苦労してきたと言っていました。友達との内緒話ができなかったり、呼ばれたことに気づかず、無視したと友達を怒らせてしまったりしたそうです。その度に「ごめんね。」と謝ってきたそうです。

母は、聞こえない人になりたくてなったわけではないので、「謝らなくていいのにな。」とぼくは思いました。

ぼくたち家族は、小さい頃から父に「お母さんが聞こえなかった時は近くに行って目を見て話しかければいいんだよ。」と教わっていたので、母が聞き間違えをしたり、話しかけて気づかなかったりしても怒ったりしません。

ある時、父が「普通に聞こえる人たちが聞こえない人以上に努力をすれば、世の中はもっともっと良くなるんだよ。今の世の中は、障がいのある人たちだけが苦労している。そうじゃなくて、普通に生活ができている自分たちが、どうしたら生活しやすいのか考えて行動したらみんな幸せになれるんだよ。」と言っていました。その話を聞いて、ぼくもそうだなと思いました。だからぼくは、母が生活しやすいように支えてあげたいと思いました。

一人でも多くの方が幸せになれる世の中になればいいなと思います。



## 『能登へ届ける岩手の応援』

有住小学校 6年 <sup>さと</sup>里 <sup>み</sup>見 <sup>あかり</sup>明さん



2024年1月1日午後4時10分ごろ、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生しました。私は、この地震のことを忘れることができませんでした。今でもつらい思いをしながら苦しい生活をしている人がいると思っていますからです。学校で福祉について考える授業がありました。そこで、私は、「岩手日報」で、「被災した能登の方へ支援品をおくる」という記事を読んで、感じたことや思ったことがあります。

一つ目は、「東日本大震災で被災した岩手から」というところです。私は、震災が発生した当時は、まだ生まれていなかったで、被災者の深い気持ちはわかりません。しかし、同じような境遇だからこそ、分かり合えることがあるのかなと思いました。岩手の支援が、私たちの支援が、能登の復興につながってほしいです。

そして、二つ目は、被災者にビデオメッセージで思いを伝えたいというところです。支援品だけでなく、メッセージをおくったのが、すごいと思いました。能登の方たちは、あの地震一つで、家族をなくしたり、住んでいた場所が、まるでなくなっただけでなく、たくさんの複雑な気持ちがまじりあっていたと思います。そんな中で、このメッセージは、とても心強かっただろうし、一つの希望になったかなと思います。そんな言葉の力を、私は普段の生活でも感じています。これからも言葉を大切にしたいです。

最後の三つ目は、記事の写真にうつっている被災者さんの笑顔です。この笑顔は、今までの困難を乗り越えた先の笑顔なんだなと思いました。

石川県輪島市の自宅が全壊した堂前知恵子さんは、「手作り品は本当にありがたく、かめめの玉子ははじめて食べるので楽しみ。残暑が続いているので暑さ対策品も使いたい。」と、話していました。

私にとって家とは、一番ほっとするところで、当たり前にあるところだと思っています。ですが、知恵子さんは、家が全壊してしまいました。私には、とても考えられません。でも、この温かいコメントや笑顔を見ると、復興が少しずつ進んでいることと、人の強さと温かさを感じました。この笑顔が、ずっとこの先も続けばいいなと思います。

今回、この新聞記事を読んで、能登をこれからも、みんなで支えていくのが私たちの責任だと思いました。それから、今の生活を当たり前と感じてはいけないと思いました。そして私も、このことを決して他人事とは思わず、現実をしっかりと受け止め、被災者や地域に心からよりそえる人になりたいです。そしてどんな人にも優しく、たくましく生きていける人を目指したいと思います。



# 住田町老人クラブ大会『大樹祭』 芸能・カラオケ大会



今年度の住田町老人クラブ大会『大樹祭』では、老人クラブ芸能大会が復活し、芸能・カラオケ大会として開催しました。大会では歌のコンテストを行い、厳正なる審査の結果、最優秀賞は、川口クラブの紺野ココキさんが受賞されました。うっとりするような歌声に多くの方々が魅了されました！



愛宕喜楽会 佐々木東さん



川口クラブのみなさん



両向老人クラブ 水野養一さん



愛宕喜楽会のみなさん



天嶽老人クラブ 小松康見さん



坂本老人クラブのみなさん



社会福祉大会並びに大樹祭へのご協力  
誠にありがとうございました



## 岩手県社会福祉大会

令和6年11月13日(水)に執り行われました、『第77回岩手県社会福祉大会』において、下記の皆様が表彰されました。心よりお祝い申し上げます。

### 岩手県社会福祉大会長表彰

(永年勤続功労者)

※多年にわたり社会福祉事業に従事した者

鳴瀬会 高橋博子様  
熊谷修様

### 岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰

(永年勤続民生委員・児童委員)

※前年度11月30日において、在任期間が  
通算7年に達した者

佐々木 ミエコ様 松田 美代子様  
佐藤 利勝様 小山 浩子様



# 岩手県老人クラブ大会

令和6年10月4日(金)に執り行われました、『第55回岩手県老人クラブ大会』において、下記の皆様が表彰されました。心よりお祝い申し上げます。

## 岩手県社会福祉大会長表彰

### 〈老人クラブ育成指導功労者〉

川口クラブ 佐藤 啓 一様  
悠々 松田 鍊 寿様

### 〈優良単位老人クラブ〉

愛宕喜楽会様  
両向老人クラブ様

## 全老連「活動賞」

令和6年度  
「会員加入促進5か年計画」  
達成クラブ

両向老人クラブ様

## 生活福祉資金貸付制度のご案内

### ◆教育支援資金

高等学校、大学（短大、専修学校の専門課程を含む）、高等専門学校<sup>※</sup>の就学費用を貸付するものです。教育支援費（授業料等）と就学支度費（入学金や制服代）の2種類があります。

願書や受験票の写しを添付することで事前申込みが可能です。余裕を持ってお早めにご相談ください。

種類	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利率
教育支援費	高校 月額 35,000円以内	卒業後 6か月以内	20年以内	無利子
	高専 月額 60,000円以内			
	短大 月額 60,000円以内			
	大学 月額 65,000円以内			
就学支度費	500,000円以内 ※利用は入学時のみ			

### 【ご利用いただける世帯】

一定の所得額以下の世帯で、必要な資金の融通を他から受けることが困難な世帯。（母子父子寡婦福祉資金や日本学生支援機構奨学金の利用が可能の方はそちらの利用が優先されます）その他の要件等については住田町社会福祉協議会へお問い合わせください。

### ◆その他の生活福祉資金について

生活福祉資金では、低所得者世帯、障がい者世帯、高齢世帯等を対象に、一時的な生活費や資金の貸付を行っています。

また、一般貸付及びコロナ特例貸付の償還や免除・減額・猶予等のご相談も承っておりますので、生活福祉資金に関するご相談は社会福祉協議会までご連絡ください。

【生活福祉資金関連のお問い合わせ先】住田町社会福祉協議会（☎46-2300）

家計の収入・やり繰り、就労、多重債務など、生活が苦しいと感じている方についてのご相談は…

ニニカセンター

☎0192-46-2300

（住田町保健福祉センター）

社会福祉法人

住田町社会福祉協議会

【開設時間】 8:30 ~ 17:30

【開設場所】 住田町保健福祉センター  
（住田町世田米字川向 96-5）



## すみたの赤ちゃんを応援しています



「すみたの赤ちゃん応援事業」は、赤い羽根共同募金からの助成を受け、子どもが生まれた世帯へ主任児童委員と民生児童委員が訪問してお祝いをするとともに、地域ぐるみでの子育てを支援することを目的としています。

今回ご紹介するのは、世田米地区にお住まいの『紺野成々斗』ちゃんです！

健やかな成長をお祈りしています。

【応募・お問い合わせ先】

住田町社会福祉協議会（☎46-2300）



このななと  
紺野成々斗ちゃん

(令和5年10月生まれ)

## 24時間テレビチャリティー募金のご報告

9月1日(日)、『イーガストすみた』様のご厚意で店舗の一角をお借りし、24時間テレビチャリティー募金活動を行いました。

今年度も鳴瀬会（すみた荘）、ボランティア活動連絡会よりスタッフのご協力をいただき、総額278,568円が集まりました。

お寄せいただいた募金は全額「テレビ岩手24時間テレビチャリティー委員会」に送られ、福祉や環境保護活動、災害復興支援事業などに役立てられます。ご協力ありがとうございました。



## 弁護士相談

社協では毎月弁護士相談を受け付けています。料金等詳細については、下記へお問い合わせください。

■各相談日先着で2組受け付けます。

相談開始時間は

①17時00分 と ②18時00分 からの2枠です。

■個室にて相談にあたりますので、第三者に相談内容が漏れることはありません。

相談予定日

令和7年

1月15日(水)

2月25日(火)

3月26日(水)

【お問い合わせ先】 住田町社会福祉協議会（☎46-2300）



このふくしだよりは、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。